

修繕業務共通仕様書

日本下水道事業団 東海総合事務所 磐田分室

修繕業務共通仕様書

1 総則

1-1 適用範囲

本仕様書は、日本下水道事業団が発注する、磐南浄化センターにおける電気・機械・計装等の設備（これに類するものを含む）の修繕業務に関する一般事項を示すもので、現場説明（行った場合）や契約書と重複する条項は適用しない。

1-2 疑義

受注者は仕様書及び図面その他に関する疑義の点は予め契約前に明確にしておくものとし、契約後疑義を生じた場合は、発注者の指示に従わなければならない。

1-3 修繕業務の範囲

- (1) 修繕業務の範囲は原則として設計書、図面並びに特記仕様書による。
- (2) 修繕業務中、範囲外で発見された軽微な故障の修繕は、受注者の負担で行うものとする。
- (3) 修繕業務中、範囲外で発見された技術上もしくは維持管理上同時期修繕が必要な故障は、発注者と受注者とで協議するものとする。

1-4 主任技術者

主任技術者は、十分な経験及び技術を有する者でなければならない。また、受注者は現場着手前に主任技術者の経歴書を提出の上、発注者の承諾を得なければならない。但し、発注者が必要ないと認めた場合はこの限りではない。

1-5 損害補償

修繕業務は誠意をもって慎重に行うものとし、万一構造物または機器に損傷等を与えた場合は速やかに発注者に連絡して指示を受けるとともに受注者の責任において復旧するものとする。

1-6 諸法令の遵守

受注者は業務に関する諸法令を遵守し、業務の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は、受注者の責任と費用負担において行わなければならない。

1-7 下請業者の届出

受注者が修繕業務の一部について下請負に出す場合は、事前に下請負の届出書を発注者に提出しなければならない。但し、発注者が必要ないと認めた場合はこの限りではない。

1-8 作業員

- (1) 受注者は修繕業務に当たり十分な技術、経験を有する作業員を派遣しなければならない。
- (2) 受注者が派遣した作業員が著しく不適当と認められた場合、発注者は受注者に対して作業員の交代を求めることができる。

1－9 後片付け

- (1) 使用工具の置き忘れ、ビス・ナットの脱落、残材の未処理等は、機器の二次的な事故の原因になるので最終確認を十分行うこと。
- (2) 修繕箇所の清掃、後片付けを十分に行う。

1－10 書類の提出及び報告

- (1) 受注者は、修繕業務終了後、修繕報告書を発注者に提出し、承認を得ること。
- (2) 提出部数
修繕報告書 2部

1－11 手直し

修繕業務終了後に業務内容の脱落があった場合、又は指摘された場合は速やかに責任をもって手直しをしなければならない。

1－12 現場発生物

現場発生物の処理は全て監督員の指示に従わなければならない。

1－13 その他

業務の際に発生した不要品は、産業廃棄物処理に関する法律に基づき、適切に処分し、必要に応じて、以下の書類を提出する事。

- (1) 産業廃棄物処分業許可証の写し
- (2) 産業廃棄物収集運搬業許可証の写し
- (3) 運搬経路図
- (4) 産業廃棄物処分計画書
- (5) マニフェストについては、完成検査時に持参して検査員の確認を得ること。

2 業務

2-1 業務計画書

下記により業務計画書を提出するものとする。この場合、次の事項について記載するものとする。

- (1) 業務概要
- (2) 実施工程表
- (3) 現場組織（資格者一覧、緊急連絡体制含む）
- (4) 仮設計画
- (5) 交換部品仕様対比表一覧
- (6) 再生資源の利用の促進

2-2 就業日時

- (1) 原則として平日は8時30分から17時
土曜日、日曜日、祭日は休業日
- (2) 停電作業又は就業時間の伸縮、夜間作業、土、日曜祭日の作業を行う業務については原則として1ヶ月前、それ以外の業務については1週間前に協議し作業日程を決定すること。
- (3) 上記の作業日程については、設備の運転状況により変更することがあるので、作業日の前日に確認すること。

2-3 写真

修繕業務の写真は下記の点に留意し、内容が把握できるように撮ること。

- (1) 写真には必ず下記事項を記入した説明板をいれること。
 - 1 業務名
 - 2 業務内容
 - 3 受注者名
 - 4 撮影年月日

例

平成〇〇年度 磐南浄化センター 〇〇設備修繕 (〇〇〇〇) (株) 〇〇〇〇 平成〇年〇月〇日
--

(2) 業務内容は概略次による。

- 1 現場着手前
- 2 基礎 アンカー・ボルトの鉄筋溶接部がわかる写真
- 3 分解組立を伴う業務については、その工程がわかる写真
- 4 分解組立時において摩耗等異常が認められるものについては、それが判定できる写真
- 5 交換部品がある場合は新・旧部品を併置し、部品名を明示した写真
- 6 現場工程がわかる写真
- 7 各機器の据え付写真は説明板に仕様を記すこと

例

平成〇〇年度 磐南浄化センター 〇〇設備修繕	
機器名	〇〇〇〇
形 式	〇〇〇〇
容 量	〇〇〇〇
(株) 〇〇〇〇	
平成〇年〇月〇日	

- 8 塗装については下塗り、中塗り、上塗りが全対象物について判定できるように写真を撮ること。なおカラー写真とすること

例

平成〇〇年度 磐南浄化センター 〇〇設備修繕	
塗 装	〇〇〇〇 上塗り
塗 料	〇〇〇〇
(株) 〇〇〇〇	
平成〇年〇月〇日	

- (3) 現場写真は原則として二方向より撮影するものとする。
- (4) 現場期間中毎月1回写真を提出すること。

2-4 電子データ

- (1) 電子媒体のラベル面には業務名、完成年月、発注者名、受注者名、ウィルス対策ソフト名とウィルスチェック年月日を記入すること。
- (2) 電子媒体への書き込みは、追加書き込みのできない方式で書き込むこと。または追加書き込みができないように閉じる処理を行うこと。
- (3) CD-Rのフォーマット形式はISO9660 level2またはJolietとし、DVD-Rのフォーマット形式はUDF (UDF Bridge) とする。
- (4) 写真はjpeg、文書はpdf・xdw、図面はjwwのファイル形式で書き込むこと。文書作成元となったワード・エクセル等ファイルも合わせて書き込むこと。但し、事前に監督員と協議を行うことで、図面をpdf・xdwファイルに変更することができる。



ラベル 表記例

令和元年度 磐南浄化センター汚泥処理棟無停電電源装置修繕業務

特記仕様書

1. 目的

本業務は、専門的見地から対象設備を点検し、劣化及び不具合の状況を把握し、保守の措置を適切に講ずることにより、下水道施設の運転に必要な総合的機能の維持を目的とする。

2. 施設概要

計画処理水量： 日最大汚水量 66,000 m³/日(分流式)

処理方式 : 水処理方式 標準法

汚泥処理方式 重力・機械濃縮、脱水、焼却

3. 対象設備

汚泥処理棟 無停電電源装置(型式:TR-SNTR10150-A)

4. 業務内容

別紙1に示す部品を交換し、動作確認を行うこと。

5. 一般事項

(1) 点検整備業務共通仕様書及び特記仕様書において明記がない場合は、下記の図書を準用する。また、下記の図書に明記がない場合または準用が困難な場合は、監督員と協議の上、業務を履行すること。

① 日本下水道事業団 電気設備工事一般仕様書・同標準図(平成 30 年度版)

② 日本下水道事業団 電気設備工事必携(平成 30 年度版)

③ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成 28 年度版

④ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)平成 28 年度版

(2) すべての交換部品は、既設品同等以上の性能・品質のものを使用すること。調達が不可能で既設品に劣る部品を用いる時は、性能・品質を比較できる資料を提出し監督員の承諾を得ること。

(3) 作業中は適切な養生等を行い、他の機器を傷つけないように注意すること。

(4) 必要により、酸素及び硫化水素濃度の測定、十分な換気の実施、作業者への教育等、安全対策を徹底すること。また労働安全衛生法等を遵守し、監督員の指示に従い安全に作業を行うこと。

- (5) 今後5年間に於ける該当設備の点検計画及び、修繕と消耗部品の交換計画を一覧表にまとめて提出すること。
- (6) 次回の業務にて施工を要する交換部品等を一覧表にまとめ、その箇所を朱書きで示した図面を添付して提出すること。
- (7) 特に明記なき場合でも、必要に応じ下記の作業を行う。(共通仕様書 1-3)
- ① 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
 - ② ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め
 - ③ 次に示す消耗部品の交換または補充
 - i ランプ類、ヒューズ類
 - ii パッキン、ガスケット、Oリング類
 - ④ 接触部分、回転部分等への注油
 - ⑤ 軽微な損傷がある部分の補修
 - ⑥ 塗装(タッチペイント)
 - ⑦ その他これらに類する軽微な作業

6. その他

- ・作業中は負荷への給電が停止することが無いように措置を講じ、必要に応じて仮設電源を用意すること。

7. 提出書類

委託契約締結後、契約約款、点検整備業務共通仕様書及び本仕様書で定める下記の書類を提出すること。

No.	図 書 名	数 量	提 出 期 限	内 容 ・ 備 考
1	業務計画書	1 部	契約締結から原則 14 日以内 (土日含む)	(1) 業務概要 (2) 実施工程表 (3) 現場組織表 (4) 有資格者一覧 (5) 緊急連絡体制 (6) 交換部品仕様対比表
2	作業(試験)要領書	2 部	現場作業(試験)日の 2 週間前まで	(1) 作業(試験)内容 (2) 作業(試験)による設備影響 (3) 工程表 (4) 体制表
3	現場作業報告書	2 部	現場作業毎	(1) 作業内容 (2) 作業人数 (3) 作業結果(簡易)
4	業務報告書 ※ 背表紙に業務 名、受注者名、完了 年月を記載	1 部	完了検査まで	(1) 業務概要・総括 (2) 5 年間の点検計画表 (3) 業務報告詳細 (4) 作業写真 (5) 業務計画書 (6) 作業報告書
5	電子データ	1 部	完了検査まで	全てのデータを格納すること。
6	その他			監督員が必要と認めたもの

※ 不要な項目は監督員と協議すること。

※ 作業(試験)要領書・現場作業報告書の1部は本施設の運転管理業者へ提出すること。

※ 試験要領書の記載事項は「日本下水道事業団 電気設備工事必携」による。

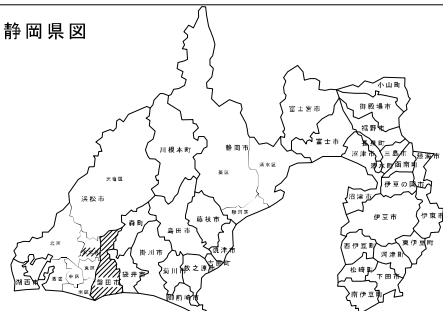
※ 業務報告書は、受注者独自の記号や専門用語の使用は極力控え、点検結果の良否に関する基準を明示すること。

別紙1 交換部品一覧表

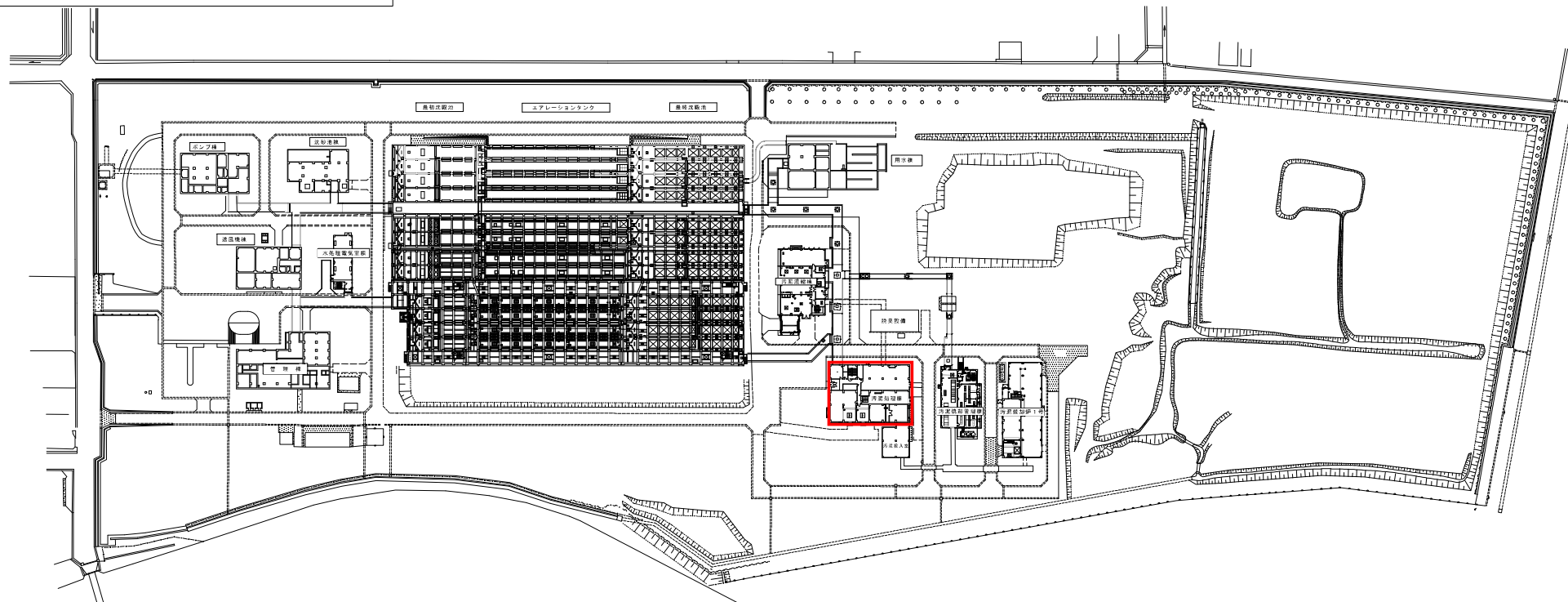
1. 機器

	品 名	型 式	単 位	数 量	備 考
	ARF基板(460-100V)	HA401633	台	1	
	入出力インターフェイス(PIO基板)	HA401411	台	1	
	ヒューズリング	BLA005	台	2	
	電磁接触器 DC100V	SC-0/G	台	2	
	保護継電器 DC110V	SVU1F-A	台	1	
	ヒューズリング	BLA005	台	1	
	DC／DCコンバータ	DDC50-24-1	台	1	
	AC／DCコンバータ	HWS50A-24A	台	1	
	インバータユニット	IN05-HA400893-04B	台	1	
	警報ヒューズ	SP-435	台	2	
	警報ヒューズ	P4-4S付き	台	1	
	ヒューズリンク	BLA010	台	1	
	ヒューズリンク	BLA005	台	1	
	警報ヒューズ	P-405	台	1	
	ACSW	SW05-HA400813-80A	台	1	
	コントロールユニット	CNTS-HA400813-80A	台	1	
	補助継電器	DS2E-M-DC24V	台	14	

静岡県図



磐南浄化センター全体配置図 S=1/1000

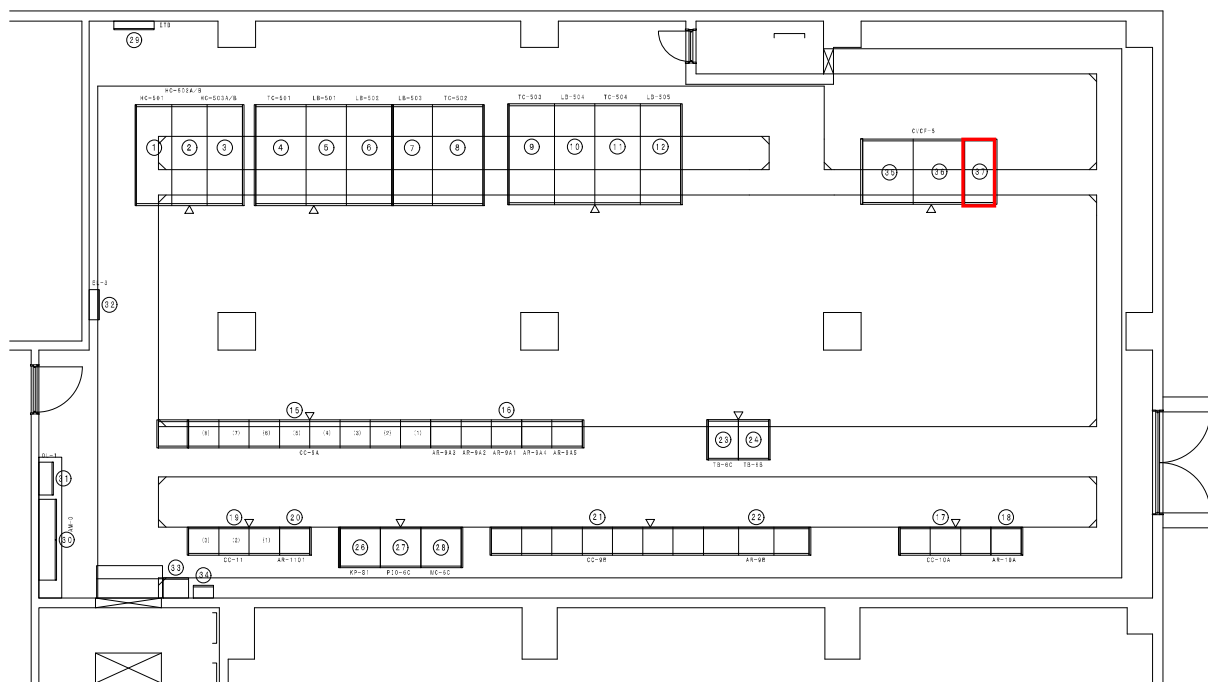


位置図 S=1/75,000

磐南浄化センター

□ : 修繕対象

業務名	令和元年度 磐南浄化センター汚泥処理棟無停電源装置修繕業務		
業務場所	磐田市小中瀬地内		
図面名称	全体平面図		
縮尺	1:1000	図面番号	1/2



汚泥処理棟 1 階電気室平面図 S=1/150

番号	設 名 称	盤 記 号	備 考
①	汚泥処理機引込盤	HC-501	
②	No. 1 400V動力変圧器 1次盤	HC-502A	
③	汚泥処理機 1次盤	HC-502B	
④	200V動力変圧器 1次盤	HC-503A	
⑤	照明変圧器 1次盤	HC-503B	
⑥	No. 1 400V動力変圧器盤	TC-501	
⑦	No. 1 400V動力主幹盤	LB-501	
⑧	制御変圧器盤	LB-502	
⑨	No. 2 400V動力主幹盤	LB-503	待 来
⑩	No. 2 400V動力変圧器盤	TC-502	#
⑪	200V動力変圧器盤	TC-503	
⑫	200V動力主幹盤	LB-504	
⑬	照明変圧器盤	TC-504	
⑭	照明主幹盤	LB-505	
⑮	DC-5		
⑯	DC-5		
⑰	1系取水機設備/コントロールセンタ	CC-9A	
⑱	1系取水機設備/補助配電盤 (1) ~ (5)	AR-9A1~5	
⑲	No. 1高圧タンク設備/コントロールセンタ	CC-10A	待 来
⑳	No. 1高圧タンク設備/補助配電盤	AR-10A	#
㉑	ケーキ移送設備/コントロールセンタ	CC-11	
㉒	ケーキ移送設備/補助配電盤 (1)	AR-11.01	
㉓	2系取水機設備/コントロールセンタ	CC-9B	
㉔	2系取水機設備/補助配電盤	AR-9B	
㉕	中継端子盤	TB-6C	
㉖	中継端子盤	TB-6B	
㉗	——		
㉘	汚泥処理機計装交換器盤	KP-S1	
㉙	汚泥処理機人出力装置盤	P10-6C	
㉚	汚泥処理機コントローラ盤	MC-6C	
㉛	接地測定端子盤	ETB	
㉜	建築主幹盤 (動力主幹/電灯主幹/非常照明)	AM-O	
㉝	汚泥処理機 1階電灯分電盤 (上部)	OL-1	
㉞	非常照明 (下部)		
㉟	屋外照明分電盤	EL-3	
㊱	排水機PH計盤		
㊲	汚泥機子房盤		
㊳	蓄電池盤		
㊴	充電機盤		
㊵	インバータ盤	GVGF-5	

注) /印は、上下段分割を示します。

：修繕対象

業 務 名	令和元年度 磐南浄化センター汚泥処理棟無停電電源装置修繕業務		
業務場所	汚泥処理棟 1 階電気室平面図		
図面名称	磐田市小中瀬地内		
縮 尺	1 : 150	図面番号	2/2